

平成 30 年度
沖縄県立芸術大学 大学院 造形芸術研究科
生活造形専攻 工芸専修

小論文 問題

あなたの考える「工芸」の将来について述べなさい。
ただし、自分自身の専門領域のみの記述は行わないこと。

※所定の原稿用紙 800 字以上 1600 字以内で記述しなさい。

平成30年度 沖縄県立芸術大学大学院 造形芸術研究科
生活造形専攻 工芸専修 染研究室・実技試験

試験時間 9:00～12:00

配付物 ケントボード(1枚)
下書き用紙(5枚)
トレーシングペーパー(3枚)
カーボン紙(2枚)
直定規 36 cm
L型定規
平筆(2本)、面相筆(2本)
ボール
水差し
絵皿(2枚)
雑巾(2枚)
アクリルガッシュ黒・白

モチーフ

受験生が持参すべきもの
図案作成に必要な用具

注意事項 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開かないで下さい。

【染研究室・実技試験】

問題： 型染を想定して、配付された2種類のモチーフを使い、白地型の図案を
ケントボードに制作しなさい。

モチーフ：・オーガスタ
・グリーンネックレス

制作上の注意事項

- ① ケントボードの裏面にある受験番号欄に、受験番号を記載すること。
- ② 裏面に図案の上下がわかるように矢印（↑）で上を明記すること。
- ③ 型紙図案の大きさは、42cm×30cmで、縦・横使い自由。
- ④ 42cm×30cmの枠は、ケントボードの中央に収まるようにする。
- ⑤ 白地型の図案で、配色する模様には黒（アクリルガッシュ）で着色し、糊防染する箇所は、白（紙の色）で残す。
絵具の白は、修正で使用しても良い。または使用しなくても良い。
- ⑥ カーボン紙、トレーシングペーパー、下書き用紙は図案制作のために、自由に使用しなさい。または使用しなくてもよい。
- ⑦ すべての配付物は、持ち帰らないこと。

※問題に関する質問にはお答えできません。



平成30年度
沖縄県立芸術大学
大学院造形芸術研究科生活造形専攻
工芸専修 織 実技試験問題

動植物をテーマに下記の条件で、壁面装飾布の織物デザインをなさい。

(記)

- 技 法 : 縞と縞を使用する
- 寸 法 : 幅 180cm×長さ240cm (90cm幅の2枚組)
- 色 彩 : 全体図のデザインが分かる様に着色
(縮尺1/10)
- 答案用紙 : B3ケント紙 1枚
- 下書き用紙 : B3方眼紙 2枚
- 実技解答用紙を記入する事

平成30年度 沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科

生活造形専攻工芸専修

陶磁器研究室 実技試験問題

【問題1】 制作時間 9:00~10:00

用意された粘土（白土）を使用し、指定されたトンボを用いて1時間以内で轆轤を用いて碗を数挽きしなさい。

【問題2】 制作時間 10:00~12:00

配布された立体表現試験問題を読み、用意された粘土を用いて粘土板上に自由に立体表現しなさい。

平成 30 年度

沖縄県立芸術大学 大学院造形芸術研究科

生活造形専攻 工芸専修 陶磁器研究室

実技試験 **【問題 2】**

「柔らかいカタチ」を造形しなさい。

また、出題についてどのように考えたか所定の原稿用紙に
400 字以内で記述せよ。

条件

- ・与えられた粘土を使用すること
- ・準備された道具のみ使用すること
- ・作業板の範囲内で制作すること
- ・下書き用紙は持ち帰らないこと

平成30年度 大学院造形芸術研究科
生活造形専攻工芸専修 入学者選抜試験
漆工研究室

【実技試験問題用紙】

試験時間 9：00～12：00

配布物 ・ 解答用紙（黒画用紙 1枚、説明書 1枚）
・ 草案用紙（白1枚、黒画用紙 1枚）

使用できる用具

・ 素描用具、白色を含む色鉛筆

注意事項 ・ 試験開始の合図があるまでは、問題用紙を開かないこと。
・ 定規、コンパス等のその他用具は使用しないこと。

問題

- ① 黒画用紙に「海」をテーマとして、加飾を施した作品の完成予想図を描きなさい。
- ② 説明書の項目にしたがって作品の内容について記述しなさい。

※問題に関する質問にはお答えできません。

注意事項

- ① 作品本体の色は黒とするが、作品と背景の境界が分かるように白色鉛筆で輪郭線を入れたり背景を着色する等、自由に表現すること。但し、背景すべてを着色する必要は無い。
- ② 加飾部分は、素材や技法が分かり易いように色鉛筆を使い表現すること。
- ③ 箱や分割できる形態の作品は、合口や分割部分が分かるように白色鉛筆の細線で表現すること。また、立体感が感じられるように白色鉛筆で補助的な線や陰影を付けても良い。
- ④ 説明書の「作品の環境」とは、使用又は設置する場所・状況・目的・他者との関わり・その他、作品を取巻く全てを意味する。
- ⑤ 黒画用紙のタテ・ヨコは自由とする。作品の上下が分かるように裏面上部中央に作品上部を示す矢印 ↑ を白色鉛筆で明記すること。